

豊川霞（三上地区） 作業部会議事録 （1/1）

会議開催日 令和 8 年 6 月 1 5 日

国：豊橋河川事務所、県：愛知県東三河建設事務所、市：豊川市

	意見・要望・質問	回答	回答者	備考
豊川霞堤地区浸水被害軽減対策計画フォローアップについて				
1	水位上昇時の対応や流れの変化により危険性が増している現状を踏まえ、道路冠水箇所での交通規制・警備を徹底してほしい。	承知した	県	
2	赤色ランプ（回転灯）における電源について災害時に停電した場合どのようなになるのか。	回転灯の電源については確認して回答する	国	【確認結果】 回転灯の電源は商用電源であり、停電時には点灯しません。
浸水被害に対する支援、被害者支援制度について				
3	土砂流入に関する支援制度の説明があったが、土砂流出に対する支援制度はあるか。特に、畑の表土が流出した場合の補償はどのように扱われるのか。	流入・流出含め、窓口へ相談をいただきたい。	国	
4	洪水時に農地へ流入する流木・廃棄物等の処理について、実態を踏まえた撤去支援や費用負担をしてほしい。	浸水時の漂着物の撤去等について実態は承知している。	国	【補足】流木等漂着物の撤去について被害があった場合、まずは担当窓口にご相談いただきたいと思います。
その他				
5	小堤と県道・栗八名川堤防との高低差はどの程度か。	低堤防と県道 69 号および栗八名川堤防との高低差は、仮締切堤（約 10.6m）を低堤防の高さとした場合、県道（約 8.5m）との差が約 2.1m、栗八名川堤防（約 7.1m）との差が約 3.5m である。	国	【補足】 県道の標高は位置により違うが、一番低いところは TP8.9m ほどであり、低堤防（仮締切堤、TP 10.6m）と県道の差は約 1.7m となります。また、低堤防と栗八名川堤防（TP7.1m）との差は約 3.5m となります。 なお、小堤の高さについては、あくまでも平成 23 年の洪水を基にして決めているが、現時点では検討中という状況です。
6	上記の高低差と樋門ゲートの構造を踏まえ、小堤を越えて流入した際にゲート操作により水を県道側へ流すことで、畑の表土流出を抑制できないか。樋門ゲートは、水位上昇時に水圧が作用した状態で開閉できるか。	構造上は水圧がかかった状態でも開閉操作は可能だが、操作要領に逆流防止の目的が定められており、逆流開始時には樋門ゲートは全閉することとなっている。意図的に逆流させるような操作はできないことを了承いただきたい。	国	
7	県道側の排水溝を蓋のない排水溝をもう一列追加することで表土流出を防げないか。	水位上昇時には側溝も冠水するため効果は限定的であり、道路管理上も対応が困難である。	県	
8	放水路の水位上昇時にも内水を排水できる樋管等を整備してほしい。また、浸水リスクの高い地域における避難所の確保・運用も検討してほしい。	内水被害に関する意見として承知した。	国市	【補足】 指定避難所は原則、災害リスクの少ない市の公共施設を指定しています。